

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察特殊報第 1 号を下記のとおり発表したのを送付します。

平成 25 年度病虫害発生予察特殊報第 1 号

平成 26 年 1 月 6 日

岡 山 県

1. 病虫害名 **ミナミアオカメムシ** *Nezara viridula* (Linnaeus)
2. 発生作物名 **ナス**
3. 特殊報の内容 岡山県での初発生を確認
4. 初発生確認月日 平成 25 年 10 月 18 日
5. 発生確認場所 岡山県南部
6. 発生面積 10 a
7. 発生状況

平成 25 年 10 月に天敵を利用した防除体系を実施している岡山県南部の施設ナスほ場においてミナミアオカメムシと思われる幼虫（図 1）を採集した。採集した幼虫を飼育して得られた成虫を同定した結果、ミナミアオカメムシであることを確認した。本種は平成 14 年以降、福岡県、大分県、静岡県、島根県、佐賀県、愛知県、香川県、広島県、兵庫県、千葉県、京都府、滋賀県、岐阜県で発生が確認され、特殊報が発表されている。

8. 形態

本種の成虫は体長が 12～16mm（図 2）で、アオクサカメムシ（図 3）によく似ているが、体がより縦長で、前胸背側角の突出が弱く、触覚第 3～5 節の先半分が褐色（アオクサカメムシは黒色）であり、腹部背面（翅下の腹板）が緑色（アオクサカメムシは黒色）であることで識別できる。なお、成虫の体色はアオクサカメムシと同様に多くの色彩変異があり、体色では識別できない（図 2）。

9. 生態及び被害

- （1）広食性で水稻、大豆、野菜類、果樹類など 32 科 145 種の植物を吸汁加害する。
- （2）水稻では主に穂を吸汁し、斑点米を発生させる。他の斑点米カメムシ類に比べ体が大きく、吸汁量が多いため、低密度でも被害が大きくなるとされている。
- （3）大豆では主に莢内の子実を吸汁し、被害粒（変形や変色）を発生させる。

10. 防除対策及び参考事項

- (1) 果菜類、果樹、水稻、大豆等での被害が懸念されるので、本種を確認したほ場では必要に応じて、各作物のカメムシ類に登録のある農薬を散布する。
- (2) 水稻では収穫後もヒコバエ等で増殖し、その後越冬場所に移動する。このため、本種の発生を確認した圃場では収穫後早めに耕耘し、増殖源をなくすことが重要である。なお、越冬場所は比較的乾燥した場所を好む傾向があり、枯れたイネ科植物で覆われた地表面や落ち葉の間、積み藁の中、ハクサイなどの葉の間、常緑樹の樹冠部など様々である。



図1 ミナミアオカメムシ幼虫（左：3齢幼虫、右：5齢幼虫）



図2 ミナミアオカメムシ成虫  
（左：緑色型、右：白色帯型、スケールは10mm）



図3 アオクサカメムシ成虫  
（右翅除去、スケールは10mm）

なお、本種とアオクサカメムシとの識別が困難な場合は、病害虫防除所(Tel：086-955-0543)にご相談ください。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、[http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=239](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239)